

県連ニュース

2016年 12月号 NO-544



2013. 11. 09 撮影

「林道小入谷線の紅葉」

滋賀山友会所属 Yさん提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	エッセイ	2
報告	第10回 理事会議事録	3
	第54回登山祭典	5
	各会 登山祭典報告	6
	ふれあいハイク	12
	近畿ブロック自然保護交流ハイク	13
	個人山行報告 韓国の山	15
	ぐうたら理事長のつぶやき	18
	山猫まんま NO.25	19
	予 定 表	20

「表情がない」

彷徨倶楽部：高田 忠雄

晴天の午後、近所の表道路を歩いていた。僕のホームグラウンドである、芝の里公園でストレッチ&小畑川沿いをウォーキングに行くための準備で、いつも通り、指や手首、腕や肩の関節を解しながら、ゆっくりゆっくり周囲を見ながら～。

細い3差路にさしかかった。西方向からきた若い女性の乗った自転車と、北方向からきた若い男性の乗った自転車が接触した。ふたりは、自転車と共にスローモーションのように、よろけて転んだ。どちらかのスマホが路面に飛んだ。

「わぁ～危ない！」事故を目撃した僕は思わず叫んで立ちすくみ、そして駆け寄ろうとした。怪我は…。ふたりは下向きかげんにぶぜんとしながらも相手の顔を見合うことなく、自転車を起こして2台の自転車はあつという間に東と南に向かって走り去った。「えええ～？」驚いたのは、その間自転車のふたりが一言もことばを発しなかったことだ。

*

とり残された僕は、すぐには歩き出せない。目の前の出来事が、無言、無表情のまま終始したことに驚き、「それはないやろ～」と。

余韻で「すみません」「ごめんなさい」「こちらこそ」「怪我はありませんか？」「大丈夫ですか？」と、独り言芝居をしてしまった～。

*

最近こんなふうな、「表情のない風景」をときどき見かけませんか……。

もちろん、若い人に限らず、老齢男女にも……。

いってんを見つめて、ただひたすら指を動かしている。駅や電車内に限らず、あらゆるところで……。歩きながら…。ひどい！自転車に乗っていても……。ベビーカーを押しながらでも…。

そんなんやのに～なにかの時、にがむしを噛んだような、しかめっ面をされる時も……。

*

ひと同士、声と表情で伝え合うところを忘れているのか～。

目の前に存在する相手が、見えなくなっているのか～。

どんなことを伝える時にも【思いきった主張を述べる時はことさらに・・・】どこかでちょっとにっこりしたり……。そんなことがあったらいい……。「にっこりやなんて、気持ちわるい、笑ってごまかすな」と、叱られるかもしれませんが…。 —おわり—

2016年度 第10回 理事会報告

11月2日(水) 19:00~20:30 県連事務所

出席；秋田、北村、友永、中島、宮内、佐藤、高玉、小林、東郷、池田、堀部、大月(記録)

欠席；奥野、西村、長谷川(連絡あり)

★下記の議題について、報告 協議 決定しました。

1. 登山祭典(40周年記念行事)(報告)

- ・参加者：140名(滋賀県連87名 近プロ自然保護委員会24名 一般29名)
- ・報告 県連ニュース原稿：各会から提出してもらおう。期限：11/15(火)、提出先：奥野
ー感想ほかー
- ・トイレテントに座席がないと言われた。
- ・トイレテントが一つ変形していて建てにくかった。
- ・八雲ヶ原の原状回復は自然に任せて今後見守っていく。

2. 道迷い遭難事故防止講演会(40周年記念行事)(協議)

日程：11/19(土) 18時~21時

会場：ピアザ淡海 207号会議室

担当：遭対部(佐藤・西村) 協力 救助隊・教育部

講師：羽根田治《遭難関係の著書多数》

規模：100名程度

参加費：会員500円 一般1000円 他府県労山会員も一般と同様1000円

申し込み数 11/1現在 40人

各会に再度呼び掛ける。新聞に案内が掲載されるのでそれまで様子を見る。

準備 佐藤→受付名簿、配布資料、筆記具、集金袋、釣銭、案内表示、マジックインク、講師謝礼、旅費、領収書

友永→名札北村→領収書

担当 司会進行→北村 開会挨拶→秋田 閉会挨拶→友永

受付→宮内、大月、小林、高玉 写真→池田

機器の設置、案内→中島、池田

3 比良全縦会計報告

収入 参加費 22000円(1000円×22人)

徴収タクシー代 9500円(500円×19人) 合計 31500円

支出 交通費 14360 円 接待費 13054 円 タクシー代 12960 円
事務用品費 816 円 保険料 180 円 合計 41370 円
9870 円の赤字

4. 各部報告

組織部；前月末の会員数（2016・10E / 2016. 9E）

山友会 85/85	岳友会 46/47	雪稜会 52/52	彷徨 18/19
ちごゆり 16/18	シャクナゲ 5/5	合計 222/226	(98.2%)

※前年度末比 222/232 95.7%

教育部：10/24 修了式 2名とも修了

自然保護部：10/23(日) 近プロ自然保護委員会交流山行→八雲ヶ原 24人参加

財政部：10/31 現在 収入 1223800 円 支出 1160869 円

遭対部・CSS・SKI-NET 特になし

機関誌部：12月号の原稿締切 11/15 印刷・発送 11/22

登山祭典報告→各会 11/15 締め切り

救助隊：10/17 近プロ第四回搬出打合わせ

10/28 近プロ全体搬出打合せ

12/16 講師打合せ 京都事務所

5 その他

- ・携帯トイレ普及活動について→登山祭典で参加者に配布
- ・全国登山研究集会 11/5～6 国立オリンピック青少年センター
- ・第20回全国ハイキング交流集会 11/5～6 国立オリンピック青少年センター
- ・清掃登山→岳友会 高室山 11/6 実施予定
- ・第18回全国自然保護集会 11/12～13 つくば市 筑波ふれあいの里
雪稜会 近藤さん 参加申し込み済→半額補助
- ・第14回日本山岳文化学会大会 11/26～27 東京都 東京慈恵会医科大学
秋田会長→半額補助
- ・ハイキングセミナー 申し込みなく中止
- ・第24回近プロ雪崩講習会 2017年1月28日(土)～29日(日) 堂満ルンゼ周辺

■ 次回第11回理事会 12月7日(水) 19:00～

2016年 第54回 登山祭典報告

第54回登山祭典は平成28年10月23日に開催されました。今年の特徴は、

1. 滋賀県勤労者山岳連盟の創立40周年を記念する祭典であること。
2. 6年ぶりに八雲ヶ原集中登山であること（コースは各団体別々）。
3. 登山については、所属の団体ではなく別の団体で登山しても構わないこと。

当日は薄曇りの肌寒い一日でしたが、滋賀山友会を皮切りに各団体が八雲ヶ原に続々集まり親睦を深めた一日でした。



■ 登山祭典参加者の集計

担当会	コース	会員	他会員	一般	合計
滋賀山友会	イン谷口→大山口→金葉峠→八雲ヶ原→ 北比良峠→(ダケ道)→イン谷口	23	0	3	26
湖南岳友会	イン谷口→堂満岳→金葉峠→八雲ヶ原→ 北比良峠→イン谷口	17	1	2	20
比良雪稜会	葛川細川→細川尾根→武奈ヶ岳→ コヤマノ岳ブナ林→八雲ヶ原→ダケ道→ イン谷口	24	0	16	40
ちごゆり山歩会	イン谷口→(ダケ道)→北比良峠→ 八雲ヶ原(往復)	12	0	7	19
彷徨倶楽部	ガリバー旅行村→八洲の滝→大摺鉢→八 雲ヶ原→イブルキのコバ→大摺鉢→ガリ バー旅行村	7	2	1	10
	合 計	83	3	29	115
近畿ブロック自 然保護委員会	滋賀県1. 和歌山県17. 奈良県3. 兵庫県2. 京都府2				合計 25

滋賀県勤労者山岳連盟40周年記念 登山祭典 滋賀山友会

日時：2016年10月23日（日） 天気：晴れのち曇り

場所：比良・八雲ヶ原

参加者：会員23名 一般2名 小学1年生 1名

コースタイム：イン谷8:55…大山口9:20…青ガレ10:00…金糞峠10:40…11:20 八雲ヶ原13:08
…北比良峠13:33…金糞峠14:03…青ガレ14:39…大山口15:10…イン谷15:38
16:00 解散



記録：イン谷口に26人が集合し、A、B、C、D4つの班に分かれて、比良正面谷を登る。途中で振り向くと谷あいには琵琶湖と沖島が見える。見上げると青空をバックに少し色づきかけた広葉樹の葉っぱが美しい。青ガレの岩場を過ぎて金糞峠に着いた。少し風が冷たいので、峠を過ぎたところで少し休憩。ここから八雲ヶ原までの沢沿いのコースは平坦。沢の流れと色づいてきたカエデの美しさを愛でながら進む。八雲ヶ原では、県連の方が横断幕を張って待っていてくれた。山友会が1番乗りだった。後から次々と他の会の方々が

集まって来られた。遠く和歌山から参加の会の方もおられた。昼食後、約140名の参加者が集まり、記念式典と交流会が行われた。我が山友会は、全員でT会長作詞の山友会の歌を歌った。山で歌うのは、夏山集中に次いで2回目だ。なかなかいい歌に思えてきた。他の会からは、代表の方の挨拶があった。また、山友会のK氏から、スキー場撤退の後の八雲ヶ原の自然環境保全に関する報告があった。式典終了後、比良ロッジ跡の方を通過して、金糞峠から正面谷を下山した。紅葉が進む比良山に、多くの山の仲間が集まることのできたことは有意義であった。

(文、写真： M・K)



第54回登山祭典報告

実施日:10月23日(日)天 候:晴

参加者:CL村田(啓)、SL重井、岩本、岩田、大月、川端、柴田、筒井、森原、渡壁、
田中、河野、村田(敏)、中岡、小野、達摩、木村
一般 太田、上田、徳田 会員 18名、一般 2名

コースタイム:

7:20イン谷口発→8:20ノタノホリ→10:00堂満岳→10:45金糞峠→

11:30八雲ヶ原(昼食)、12:30登山祭典(県連40周年記念集会)

13:00発→13:30北比良峠→14:40神璽谷→15:40イン谷口

会計報告:

収入 20名×@300円=6,000円

支出

保険代@100円×2名=200円

ブタ汁代 3,500円

残金 2,300円(残金は一般会計へ繰り入れ)



(一口感想)

県連でお世話になった、村田さん、岩本さん、重井さん、河野さん、一緒に堂満岳に登って、楽しい一日でした。

それにしても、山の様子が変わったことには、驚かされました。東稜道ではナラ枯れが進み、無残な倒木が目に着きました。下りのシンジ谷コースでは、

北比良峠直の、蟻地獄の巻道に目を見張りました。振り返ると、下流の滝場の通過が困難になっていたのです。しばらく歩いていなかったとは言え、谷の荒廃はすっかりコースを変えていました。

運営上の問題点として、チラシのコースに、奥ノ深谷源流とシンジ谷の文字がなかったこと。これは、参加者と他のコースリーダーへの周知の面で、反省すべきでしょう。

最後に、豚汁をふるまっていたいただき、ごちそうさんでした。

太田

一般で参加したにもかかわらず皆さん温かく迎えて下さり、勉強になるお話もたくさん聞かせて頂きました。本当にありがとうございました。大勢で登るのは初めてでとても新鮮で楽しかったです。是非また参加させて頂きたいです！

上田

色づく山並みと巨木、広がるびわ湖、コースも豚汁も素晴らしい一日でした。かねてから登って見たかった比良、「迷惑をかけてはいけない、でも行きたいな」と緊張ながら参加させて頂きました。集中してお話しもありできなかったですが、本当に楽しかったです。お世話になりありがとうございました。

徳田



(報告:村田 敏雄)

2016年 登山祭典・秋の野点山行報告（比良雪稜会）

コース JR 小野駅・和邇駅 7:10＝葛川細川 8:15－（細川尾根）－
武奈ヶ岳 10:50－コヤマノ岳 11:25－八雲が原 12:25～13:35－
（ダケ道）－イン谷口 16:00＝帰路（交通手段は貸し切りバス）
参加者 40名（会員 24名 一般 16名）



『やや健脚向き』の今回は常連さんが若干少なめながら、急勾配の細川尾根を一列で登れば40名は圧巻の長蛇。途中までは汗、900m超えると防寒着。到着の武奈ヶ岳山頂、景色は抜群ですがなにしろ寒いので記念撮影のみでコヤマノ岳へと向かい、少し手前の林の

中で20分の昼食休憩。いつもはこの後に野点でのんびりですが、この日は県連40周年記念集会参加するため八雲が原に向かう。下見の段階で集会開始の12時半到着が危ぶまれていたものの、健脚40名・絶好調で無事に集会に参加。野点は集会後に他の会の皆様にも参加



いただきながら楽しむことができました。下山路は事前のスズメバチ情報等でコース変更も検討した結果、当初の予定通りダケ道と決定。



ただし、〈蜂に注意〉の個所は静かに・・・で問題なく通過。イン谷バス停で配布した40周年記念の携帯トイレは「お土産付き」と喜ばれ、待っていたバスで無事の帰宅となりました。小春日和なら長居をしたかった場所ばかりですが、秋風に背中を押されて時間通りの順調な一日。お疲れさまでした。（小林）

第 54 回登山祭典

八淵の滝から八雲ヶ原へ

乾久子(彷徨倶楽部)

日時：2016年10月23日

山城：比良

参加者：男性6名女性4名 計10名(彷徨

倶楽部7名)

天気：曇り時々晴れ

行程：ガリバー村駐車場 9:10---大播鉢
9:45~9:55---貴船ノ滝 10:10---大播鉢
分岐 10:30~10:40---七遍返しの滝上
11:05---八雲ヶ原 11:45~13:30(登山祭典---広谷経由で---駐車場 15:30

感想

県連の登山祭典に参加した。今年は各会が比良八雲ヶ原に別々のコースから集中し、県連結成40周年の記念集会をすることになった。

今回のルートは八雲ヶ原への最短コースだ。クサリ場やハシゴ、朽ちかけた木の橋など変化に富み、スリリングな道が続く。また新緑、晩秋の紅葉の季節に歩くのも価値が高い。真夏の沢登りも捨てがたい。八雲ヶ原での登山集会では、普段なかなか会えない他会の知人とし

ばし交流する。念願の比良雪稜会のお抹茶も頂いた。携帯トイレやトイレブースの設置など、大勢が集まる場合の環境への配慮を感じた。楽しい一日を過ごせて担当の皆様へ感謝。感謝。



(写真その他彷徨倶楽部ブログより引用)

登山祭典に参加して

10月23日、我が「ちごゆり山歩会」は一般参加者7名と会員12名合計19名で登山祭典に参加しました。比良駅で一般参加者の方達と合流後、大山口からダケ道を登りました。良く整備をされたダケ道をゆっくりと少し色づき始めた紅葉を楽しみながら北比良峠へ。その後、昼食を済ませ12時過ぎに祭典の開催場である八雲ヶ原に移動。12時30分より祭典が開催されました。秋田会長の挨拶の後、各会の紹介がありました。自然保護活動の報告や、山友会さんの合唱や雪稜会さんの野点のお誘いありと、各会それぞれ特徴があり大変興味深かったです。集合写真撮影後、解散となりました。当会は下山も同じコースを辿り、蜂の襲撃にあうこともなく、一般参加者の方達と無事下山しました。今日の八雲ヶ原はとても寒かったです、その中準備をして下さった各担当者の方々有難うございました。そしてお疲れ様でした。

ちごゆり山歩会 小泉 満子



(高山)

ふれあいハイク 報告（滋賀山友会）

実施日 2016年10月2日(日)

場所 甲賀市水口町 庚申山 410m

参加者 会員18名

作業生 9名 職員4名 親1名

計 32名

集合時刻・場所 午前10時30分 広徳寺駐車場 解散 午後1時30分



当日の早朝に雨が降って心配したが、ゆっくりの集合時間が幸いして、天気心配もなく、一年ぶりに皆さんの元気な顔が見られました。広徳寺の展望台までの舗装された道を往復3時間という短い距離でしたが、喜んでいただけましたようです。舗装道の両脇には、もみじの径、さくらの径等名前がつけられ、その時期には美しい並木径になるのだらうと想像して歩きました。

展望台で昼食をとった後、集合写真をとっ

て、緩やかな道を集合場所まで戻りました。参加認定証を一人々会長から手渡し、その後、班ごとに作業生の方から挨拶をしていただきました。閉会后、バスを見送り解散となりました。

補足

電車組の会員は、8時30分着JR貴生川から小野峠を越えて広徳寺集合場所まで歩きました。帰りは、解散場所からまた、展望台まで引き返し、表参道を下山しました。地図も持たずに参加したので、ど



こを歩いているのかさっぱりわからず、荒れた登山道という印象が残りました。もう一つの目的「地ビールレストラン寿賀蔵」が不定休の休みと重なり、ショック！！それで草津の王将へ 生ビールでお疲れ様で〜す。いつか地図・GPSを持ってリベンジ山行を計画して、地ビールを味わいたいと思っています。

近畿ブロック自然保護交流ハイク

比良八雲ヶ原 滋賀県連登山祭典参加報告

10月23日(日)

目的は近畿ブロック自然保護交流および放射線量測定で、集合はJR湖西線比良駅9時05分。予定コースは比良駅からイン谷口(キャンプ場)までは車で移動、イン谷口から青ガレ、金糞峠を通過して八雲ヶ原へ。帰りは状況把握して北比良峠からダケ道でイン谷口へ下山を決め、そのように実施した。

参加者は滋賀県連(中島英雄)京都府連(麻田育良、岩根氏)奈良県連(高橋 円、由良行基周、森 明美)兵庫県連(塚本昭光、小野田さん)の8人でCL中島、SL麻田で行動した。

和歌山県連からはマイクロバスでイン谷口へ直接行き、別行動とすると連絡を受ける。責任者(大住米和さん他16人)が来られ、1人は体調不良でイン谷口に待機、登ったのは16人。

和歌山県連は先に出発したが、後から出発した8人グループは青ガレの先で追い越す。八雲ヶ原で休憩していると和歌山県連グループも到着。ここで全員が揃うこととなった。

放射線量測定器は兵庫県連より1台、京都府連より1台と近畿ブロックに貸し出しの合計3台であらかじめ決めていた地点で測定した。測定記録は京都府連麻田氏がまとめることにした。(測定値は器械により若干違いがある)奈良県連と中島で測定した記録票は別紙参照下さい。近畿ブロックに貸し出しの放射線量測定器を本日から滋賀で預かります。

8人グループの各地点の到着時刻(測定時刻とほぼ同じです)は次の通りです。和歌山県連グループ全員の下山を確認して帰宅しました。測定器は堀部氏が預かり中です。

到着時刻 イン谷口出発 9:31～大山口 9:44～青ガレ 10:23～金糞峠 11:00～八雲ヶ原
12:00～13:30
北比良峠 13:40 ～イン谷口下山 16:00

報告 中島英雄

登山道の放射能汚染マップ作成のための測定記録票

日本勤労者山岳連盟

測定山域	滋賀県 比良山	登山口及び登山ルート	イン谷口～大山口～青ガレ～八雲ヶ原～北比良峠
測定年	2016年 10月 23日 (日)	時間帯	9:26～13:40
測定者氏名	県連盟・会名	記録者氏名	県連盟・会名
	由良行基周 奈良・奈良登山		中島英雄 滋賀・滋賀山友会
測定参加者氏名	高橋 円・奈良HC		
測定機種名	①HORIZA PA-1000 Rad ②		
	標高及び測定時間	北緯/東経	測定結果 ($\mu\text{Sv/h}$)
			測定した場所はどこか <small>(休憩場所・林間で落ち葉が堆積している場所、沢の近く、湿地帯など具体的に記入して下さい)</small>
1	標高	北緯	35.14.14
	時間	東経	135.55.41
			地表1m
			0.122
			イン谷口 (砂地)
2	標高	北緯	35.14.29
	時間	東経	135.55.18
			地表1m
			0.176
			大山口 (砂地)
3	標高	北緯	35.14.42
	時間	東経	135.54.44
			地表1m
			0.136
			青ガレ (花崗岩)
4	標高	北緯	35.14.51
	時間	東経	135.54.23
			地表1m
			0.167
			金糞峠 (砂地)
5	標高	北緯	35.15.30
	時間	東経	135.54.36
			地表1m
			0.101
			八雲ヶ原 (雑草)
6	標高	北緯	35.15.12
	時間	東経	135.54.48
			地表1m
			0.126
			北比良峠 (芝)
7	標高	北緯	
	時間	東経	
			地表1m
8	標高	北緯	
	時間	東経	
			地表1m
9	標高	北緯	
	時間	東経	
			地表1m
10	標高	北緯	
	時間	東経	
			地表1m

※測定結果を地図に記入したものがあればコピーを添付して下さい。気がついたことなど、意見も記入して下さい。

韓国 月出山 (ウォルチュルサン) 無等山 (ムトンサン)

日程:2016年9月22日(木)~26日(月) 参加者:CL:谷内資 SL:村田啓 会計:谷内里 濱 村田恵
行程

9/22(木) 関空11時=金海空港(軽便鉄道)=沙上駅(釜山西部
バスターミナル)=光州(クワンジュ)バスターミナル→農城駅(地下鉄)
=尚武駅→ホテル BENIKEA 18時(泊)
9/23(金) 月出山 9/24(土) 無等山 9/25日(日) 月出山
9/26(月) ホテル=(タクシー)光州バスターミナル=沙上駅(朝食)
→E マート(買物)=金海空港14時=関空



(光州市バスターミナルに到着)

9/23(金) 月出山 道間違い「山賊の家？」を通る 晴れ

ホテル6:30...尚武駅6:35=農城駅→光州バスターミナル7:05-7:50
=霊巖バスターミナル9:10=(タクシー)道甲寺9:35 登山開始10:05
→(途中で道を間違える)山賊?の家→稜線→休憩10:50-11:01→昼
食11:45-12:20→(稜線をアップダウン)展望台13:25-13:45→ススキ原
(オセッパ)14:00→道を間違えた分岐点15:00→道甲寺15:20タクシー
=霊巖16:05=光州バスターミナル17:25→花亭駅=尚武駅→ホテル



道甲寺(トガプサ)



(月出山天皇峰 遠望)

寺を過ぎてゆるやかな沢沿いに登山道を歩く。沢を渡る分岐で左へ進み、道を間違える。整備された山道で歩き良いがあちこちにあった道標が無いのに気づく。勾配が厳しくなり、山寺か居宅の前で道は行き止り。家を訪ねるも不在。分岐まで戻ると随分下ることになる。(ようやく展望台に到着)

早朝発の予定を寝過ごし、光州バスターミナルで朝食(うどん)を食べて霊岩(ヨンナム)へバスに乗る。霊岩まで同乗した親切なおじいさんがタクシーに交渉していただき、5名乗車で登山口の道甲寺に到着。このお寺は月出山を背後に控えた名刹です。



ススキ原(オセッパ)

はここから下山した。

山道の左にテープがあり、尾根に向かう。急登が続き、踏跡を歩くとテープに来た方向を指して「山賊○○」の表示があり、「さっきの家は山賊の家か？」と合点する。岩稜を越えて支稜線に到達し、昼食とした。周囲の展望は良く、テープを頼りに踏跡をたどり尾根添いに歩く。途中でカップルに出会い、月出山まではとても遠いとのこと。

鞍部まで下り、再び登り返して最後はススキのブッシュをかき分け、本来の登山道脇の展望台に到着したが1時30分を過ぎたので今日

月出山 道岬寺

全羅南道文化財資料第79号
全羅南道 靈岩郡 郡西面 道岬寺路 306

道岬寺は統一新羅末に道岬川(826-898)が忠康王6年(880年)に創建したと伝えられており、1999年の大規模の発掘調査から、百濟時代の瓦の破片が出土され、統一新羅時代以前に既に寺があったことが推定されます。

道岬寺が大きく繁栄したのは朝鮮時代初期です。ここ出身である守智王師が、1457年から1464年の間(建文3-10年)に大々的に再建したのですが、当時の建物の規模が966間に及び、所属する座子が12カ所、道岬寺に属していた僧侶が780名に達するほど繁栄しました。1597年の丁酉再乱でたくさん文化財が焼失する被害を被りましたが、戦乱以降に再び復興が始まり、その復興が17世紀の後半まで続きました。その後、英祖58年(1776年)と憲宗元年(1835年)にも一部再建されました。

近來に於ての道岬寺は、朝鮮戦争(1950年)と火災などでたくさん伽藍が焼失しましたが、1995年から1999年まで実施された4回の発掘調査から昔の伽藍配置を調査し復元仏寺を推進しています。現在、境内には道岬寺解脫門(国定第501号)など国定文化財5基と、道岬寺の石槽(有形文化財第150号)など、全羅南道の指定文化財5基があります。

韓国光州 無等山

9月24日(土) 晴れ

ホテル5:07→尚武駅5:42始発＝農城駅→光州バスターミナル6:22-6:40(バス)証心寺(チュンシムサ)登山口8:10-8:30→パラム峠(パラムジエ)9:33-9:50→桐華寺(トファンサ)跡10:48-11時→中峰(チュンボン915m)11:35-11:40→林道出合(トイレ)11:50-12時→マック展望台12:15-12:25→立石台(イブソクテ1017m)→瑞石台(ソクテ1100m)昼食12:40-13:20→林道出合 13:35-13:40→休憩14:30-14:40→義兵碑15:19→元暁寺(下山口)15:38(バス)＝(山水洞)に途中下車→お嬢さんがバスに掛け合う→(バス)運転手が下車を指示→地下鉄文化殿堂駅＝尚武駅→ホテル

光州市民の心の山と言われる無等山は「較べることができない名山」とされ、近年国立公園に昇格しました。昨日の反省から4時起床5時にホテルを出発し、ターミナルから09番市内バスに乗車、終点の証心寺バス停に到着。登山口は飲食店や登山用品店が並び、前の店で韓国海苔巻(キムパツ)を買い求める。

土曜日で登山者が多い。登山道が枝分かれして左へ溪谷沿いを歩くとめっきり少なくなった。緩い登りが続くが水場を過ぎると急な石段が続き、パラム峠に到着。休憩所で一休みする。標高は500m位で登山路があらこち分かれている。峠から市街地が見え、登ってきた実感が湧く。ヤブ蚊もいるので休憩もそこに林道を渡って急な尾根に取り付く。

尾根を登りきると樹林帯を緩やかに登る。古代寺院桐華寺跡からは展望が開け、稜線を中峰に向かって歩く。ススキ原の眼下は少し霞んでいるが光州市街が広がり、左手には無等山天皇峰や立石台が見えた。中峰から少し下り、林道に出会うとトイレがあり国立公園監視員の小屋がある。ここから立石台を通って瑞石台まで往復したが最後の登りが結構厳しい。

立石台は柱状節理の溶岩柱が大きくそびえ、景色も良い。続く瑞石台は主稜線の末端で登山者が登れる最高地点。多くの登山者で賑わい、軍事施設のある天皇峰が目前に見える。炊事禁止の看板が立ててありコンロが使えないのが残念。

昼食と展望を楽しんだ後、林道から稜線を緩やかに下り、壬申倭乱(豊臣秀吉の朝鮮侵攻)の義兵碑を過ぎて元暁寺に



最高地点(瑞石台)

到着。運よくバスに乗ったものの、随分手前で下車してしまう。もう一度バスに乗る際に停留所で親切なお嬢さんやバスの運転手に声をかけられ、ようやく地下鉄文化殿堂駅に着いた。



(証心寺登山口)



(パラム峠休憩所)



(中峰)



(立石台)



最高峰へは立ち入り禁止(頂上広場)

韓国 月出山

9月25日(日) 晴れ 23日は道間違いでススキ原までしか行けなかった、本日は反対側の天皇寺(チョンサ)・開新里(ケンシンリ)側からリベンジ。

ホテル5:30=(タクシー)光州バスターミナル6:20=霊巖バスターミナル(朝食を購入)=(タクシー)天皇寺・登山口7:05 (朝食)出発7:38→天皇寺大雄殿8時-8:05→トイレ休憩8:15-8:25→で休憩(雲橋の手前)8:50-8:58→休憩10時-10:10(鞍部から登った場所)→天皇峰(チョンボン)10:55-11:05→休憩11:40-11:50→パラミテジャンクション12時→昼食12:40-13:25→ススキ原13:50-14:09→分岐(間違った地点)15:11→道甲寺15:15-15:30=霊巖バスターミナル15:40-16:05=光州バスターミナル17:30…花亭駅=尚武駅…ホテル18:20



(クルムタリ 雲橋)



(鉄骨階段を登る)



(頂上から見える雲橋)



(人面岩)

今日は登山の最終日、タクシーを利用して早朝に出発。登山口のキャンプ場入口で朝食。天皇寺を過ぎると急登が始まり、前には切り立った岩峰がいくつも聳えている。岩山はボルトが打たれてクライミングも盛んですが急峻なので安易に登攀できるような岩場ではなさそうです。

尾根を越えるのにクルムタリという

赤い吊り橋を渡る。足元と周囲が絶景でスリル満点。なお鉄骨階段を登り鞍部を越えた

所で休憩。至福(天皇峰)の絶景を楽しむ。頂上手前で鹿窓(狭い岩の隙間)を通り、ようやく天皇峰に到着。頂上はハイカーでごった返していたので眺望と写真を楽しんで通過した。

天皇峰からは縦走路をアップダウンしてパラミテジャンクション(峠)まで下る。ここまで来ると登山者は少なくなり、再び人の顔に見える人面岩に向かって登り、九井峰はエスケイプしてルートを少し外れた場所で昼食。ガスを沸かしてラーメン・コーヒーを楽しんでいると国立公園の巡視員が近くを通りあわててガスを片付けた。韓国の国立公園は火気禁止なので食事場所にも気を使います。

木立の茂る縦走路をなおも下り一昨日に到達したススキ原に到着。最後の景色を楽しみ道甲寺へ無事下山した。

光州は初めて訪れた韓国南部、全羅南道の都会でしたが焼きアナゴ、鍋など安くて美味しく料理も大満足でした。史跡も多くまた行きたい所です。記録報告(村田 谷内)



(登山口キャンプ場で朝食)



(天皇峰登山口)



(天皇峰)



(鹿窓)



(縦走路から見える九井峰)

ぐうたら理事長のつぶやき

登山祭典は 140 人の参加をえて無事に終わりました。皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。ただ交流の時間が短かったのが残念です。来年は 40 周年ファイナルとして麓のキャンプ場で土曜日の午後から大交流会を開いて、日曜日に公開山行を実施してはどうかと思っています。来年も皆様のご協力をお願いします。

先月は本の紹介でしたので、今月は音楽の話でもしましょうか。山を題材にした物には「アルプス交響曲」が有名ですが、ほかにも「ヒマラヤ交響曲」もあります。めったに演奏されませんが「マンフレッド交響曲」というものもあります。交響曲以外では「はげ山の一夜」などあります。直接山には関係ありませんが「中央アジアの高原にて」や「ダッタン人の踊り」など山の雰囲気漂わせているものもあります。また、「スラブ舞曲」や「ハンガリー舞曲」など運動会でお馴染みのものもあります。山に行く機会がめっきり減ってしまった近頃は聞く機会が多くなりました。他にもあると思いますが思いつくままにあげてみました。皆さんも時間がある時はコーヒーでも飲みながら聞いてみてはいかがでしょうか。

ちなみに私はへそ曲がりなので「アルプス交響曲」ではなく「中央アジアの高原にて」を聞きながらラクダの背に揺られながら遥かに天山山脈を眺めながらゴビ砂漠に行く風景を思い浮かべてします。それとアフガニスタンのワハン谷は憧れの地でしたが、今となっては訪れる事は困難な国際情勢となってしまいました。

ハンキングセミナーを計画したのですが応募がなかったので残念ですが中止としました。準備不足を痛感しています。一応準備はしたので来年に備えて予行演習をしたいと思います。

第 1 回目として計画していた音羽山に地図読みに 12 月 23 日に行きたいと思います。三連休の初日ですが遠出をしない方に参加していただくと嬉しいです。

8 時膳所駅集合で、びわ湖放送の所から登って平尾に下り膳所に戻りたいと思います。参加していただける方は 12 月 20 日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 [メールは yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp) です。

山猫まんま

No. 25 太平燕 (タイピーエン)



春雨スープに、豚肉やエビ、白菜、竹の子、キクラゲなど
五目とゆで玉子が入った、熊本ご当地グルメにゃ♪

■材料:4人分

豚コマ切れ肉 150g、えび 8尾、ウズラの卵(水煮・パック入り) 8個、
かまぼこ 1本(チクワで代用可能 その場合一袋)、
春雨 40g、にんじん1/2本、白ネギ 1/2本、白菜 4枚、
水 1200mL、日本酒 大さじ2、サラダ油 大さじ1.5、塩こしょう:少々
鍋キューブ(白湯味) 4個 or ウエイパー(中華ダシ) 大さじ4



家での準備:(山でやってもOKにゃ♪)

野菜を切る。にんじん:短冊切り、白葱:斜め切り、白菜:そぎ切り
面倒であれば、カット野菜炒め用の野菜を代用する。
豚肉は一口大、カマボコは3mm幅の薄切り、えびの殻をむく。
えびも冷凍のシーフードミックスを使うと簡単にゃ

■作り方:

① 鍋で油を熱し、豚肉を炒める。
肉の色が変わったら、えび・にんじん
白ねぎ・白菜・かまぼこ・日本酒を
加えて、塩こしょうをふる。



② 水と鍋キューブを加え、煮立ったら、ウズラの卵と春雨を加え、
春雨が柔らかくなるまで煮て完成にゃ♪

🐾 にゃんポイント アドバイス 🐾

豚のコマ切れ肉の代わりに
鳥やブタミンチで作った肉団子を
入れてもとっても美味しいニャー

春雨は保温性がとってもいいニャ
寒い冬の山でもさめにくいのにゃ



行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
12			12	3	比良・雄松山荘道～釈迦岳	山友
				3	忘年山行(場所未定)	彷徨
				3-4	忘年会(番浦山荘)	彷徨
				4	音羽山・部会	山友
				4	比良シリーズ蛇谷ヶ峰	山友
				4	例会山行・金勝アルプス	岳友
				4	救護・搬出訓練(北小松山岳センター)	雪稜
	7	第11回理事会		9-12	香港の山	彷徨
				10-11	由良ヶ岳・大江山	雪稜
				10~11	総会&忘年会(十二坊&三上山)	ちご
		17	忘年山行(魚の子山～宮メズラ)	雪稜		
		17	忘年会	雪稜		
		17	忘年山行・希望ヶ丘周辺	岳友		
		17~18	忘年会(希望ヶ丘ロッジ)	岳友		
	22-25	妙高グレンデスキー(ｽｷｰﾈｯﾄ)				
	29-1/2	妙高グレンデスキー(ｽｷｰﾈｯﾄ)				
1			1	1	比良・権現山	山友
				1	初日の出山行/権現山	雪稜
				3	京都・愛宕山	山友
				3	武奈ヶ岳(新春登山)	彷徨
	11	第12回理事会		8	マキノ・赤坂山	山友
				8	新春山行/武奈ヶ岳	雪稜
				8	愛宕山新春登山	ちご
				9	音羽山	山友
				8	新春登山(比叡山)&新年会	岳友
				14-16	志賀高原スキー例会	山友
			19	ミーティング	彷徨	
	20-24	ニセコスキー(ｽｷｰﾈｯﾄ5日ｺｰｽ)	22	スノーハイク・岩籠山	岳友	
	20-28	ニセコスキー(ｽｷｰﾈｯﾄ9日ｺｰｽ)	22	寒風～粟柄越(高島トレイル)	雪稜	
	25	第13回理事会	28	ミーティング	岳友	
			29	比良・鳥越峰	山友	
			未定	飛鳥ウォーク	ちご	
2			2	4	定例山行(場所未定)	岳友
				5	スキー例会(びわこパレイ)	雪稜
				5	八幡山	ちご
	11	第14回理事会				
				12	小女郎谷～打見山	雪稜
				16	運営委員会	岳友
				16	ミーティング	彷徨
				19	綿向山・樹氷ハイキング	岳友
				19	第38回定期総会	雪稜
				19	おまかせ山行	ちご
			25	ミーティング	岳友	
	25	第15回理事会	26	余呉一周	雪稜	

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

ｽｷｰﾈｯﾄ:山ｽｷｰﾈｯﾄ滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

滋賀県勤労者山岳連盟はまもなく 40周年を迎えます



原稿の投稿先（1月号は2016年12月15日〆切）
メールアドレス yutaka_o@hotmail.com まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、また、使用する写真は200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願いします。

「県連ニュース」№544

発行日 2016年11月22日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和
編集委員 奥野 豊

小林智子 高玉敬子